

1 国語に関する調査

【特長】

- 目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にすることや情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解することができている。
- 日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに関与する点に気付くことができている。低学年から、読書習慣の大切さについて指導してきた成果だと考えられる。

【課題】

- 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することに課題がある。様々な交流活動などで自分の考えを伝える機会を多くし、表現の工夫に関する指導をより充実させる必要がある。
- 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることに課題がある。物語の描写における言葉の使われ方と文脈から判断される意味に関する指導をより充実させる必要がある。

2 算数に関する調査

【特長】

- 角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述することができている。
- 直方体の見取図について理解しかくことや、円グラフの特徴を理解し割合を読み取ることができている。

【課題】

- 除数が小数である場合の除法の計算をすることに課題がある。計算の仕組みを十分に理解したり、計算方法について習熟したりする時間を十分に取る必要がある。
- 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述することに課題がある。グラフの数値を正しく読み取るとともに、その値が何を示しているのかについて、説明する活動を充実させる必要がある。

3 児童質問紙の結果より

【特長】

- これまでの授業で、「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した」と思っている児童が多い。
- 国語と算数のどちらについても、「勉強は大切で、学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と思っている児童が多い。

【課題】

- 自分のよさに気付いたり、先生がよさを認めてくれていると感じたりしている児童の割合が低い。特別活動や話し合い活動などの中で、互いのよさを認め合うこと、教員が児童一人一人を受け止め、児童のよさを伝えていくことに一層努める必要がある。
- 「将来の夢や目標を持っている」「自分で学び方を考え、工夫することができている」と回答した児童の割合が低い。目標設定や振り返りを確実にやり、達成感を味わう経験を重ね、自ら学びを進めていく力を培っていききたい。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 児童が探究的に課題・問題解決ができる授業になるよう、日常生活から題材等を選び、授業研究・教材研究を引き続き充実させていく。
- より自信をもって表現できるよう、異なる考えを認めたり生かしたりして、自分ならではの考えをまとめられるように取り組んでいく。
- 学級活動や特別活動の委員会・クラブ活動、学年縦割り活動等で児童の特性を生かし、自分や仲間のよいところに、より気付けるよう工夫していく。
- 教育活動全体を通じた道徳教育の充実を図り、安心できる環境づくりを心がけ、一人一人に寄り添い、児童と一緒に考えることを大事にしていく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 子供たちが、自己有用感を感じ、自信をもって取り組む姿を願っています。そのためには、学校やご家庭の中で、子供たちのよさや成長を認め、そのことを子供たちに伝える機会を多くつくるのが大切です。今後も、ご家庭で、見守り、寄り添い、ときには一緒に考えたり、活動したりしていただけるような関わりをお願いします。
- パソコンやスマートフォン等を利用する際には、ルールを話し合って決めるのが大切です。定期的にお子様と一緒にご確認ください。
- 地域・家庭・学校のつながりを大切に、地域への愛着心を育てていきたいと思います。